



証券コード6809

# TOA株式会社 会社説明会

代表取締役社長 谷口方啓

2024年8月31日



この音、聞いたことはありませんか？

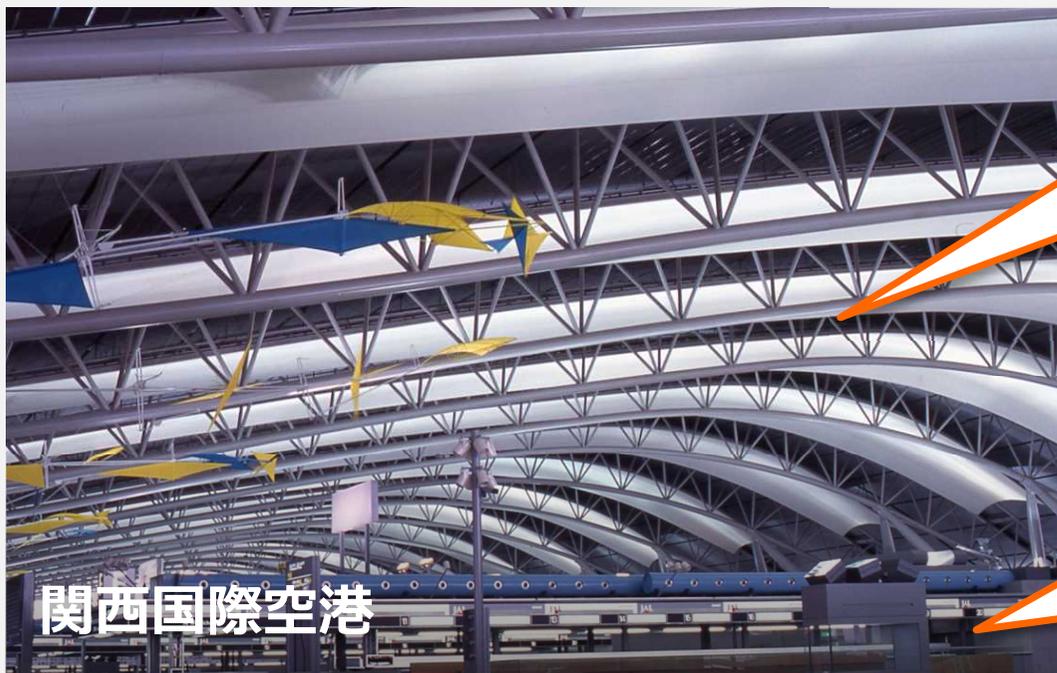
---



# こんなところで活躍しています

## 交通インフラ施設

### 駅や空港における発着のアナウンス



天井取付型  
スピーカー



インターカム



# こんなところで活躍しています

## 商業施設

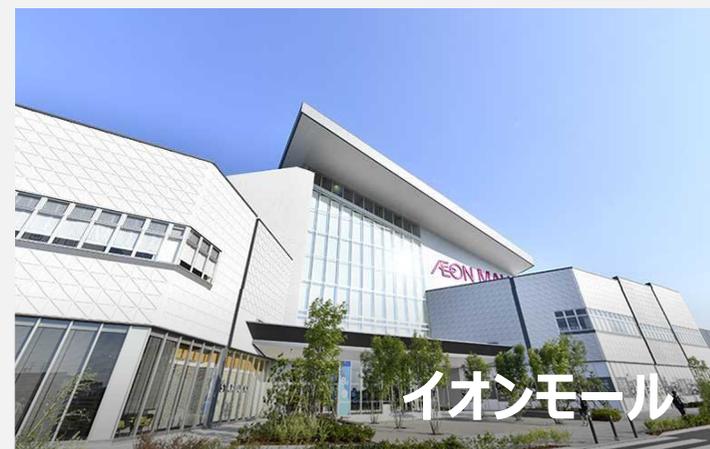
イベント情報の案内、利用者へのお知らせ、BGM



リモートマイク



天井埋込型  
スピーカー



イオンモール

# こんなところで活躍しています

## 教育施設

チャイムやお昼の放送、先生からの緊急連絡



壁掛型  
スピーカー





## Smiles for the Public

— 人々が笑顔になれる社会をつくる —

「笑顔」とは、単なる満足を超え、  
人々に「安心」「信頼」「感動」という価値を提供することで得られるもの。  
それを当社は、人々の集まりである「社会」に対して実現いたします。



# 会社概要

※2024年3月31日時点

2024年で



創業**90**周年

国内グループ



**35**拠点

海外グループ



**27**拠点

資本金



**52**億79百万円

連結売上高



**488**億14百万円

グループ従業員数

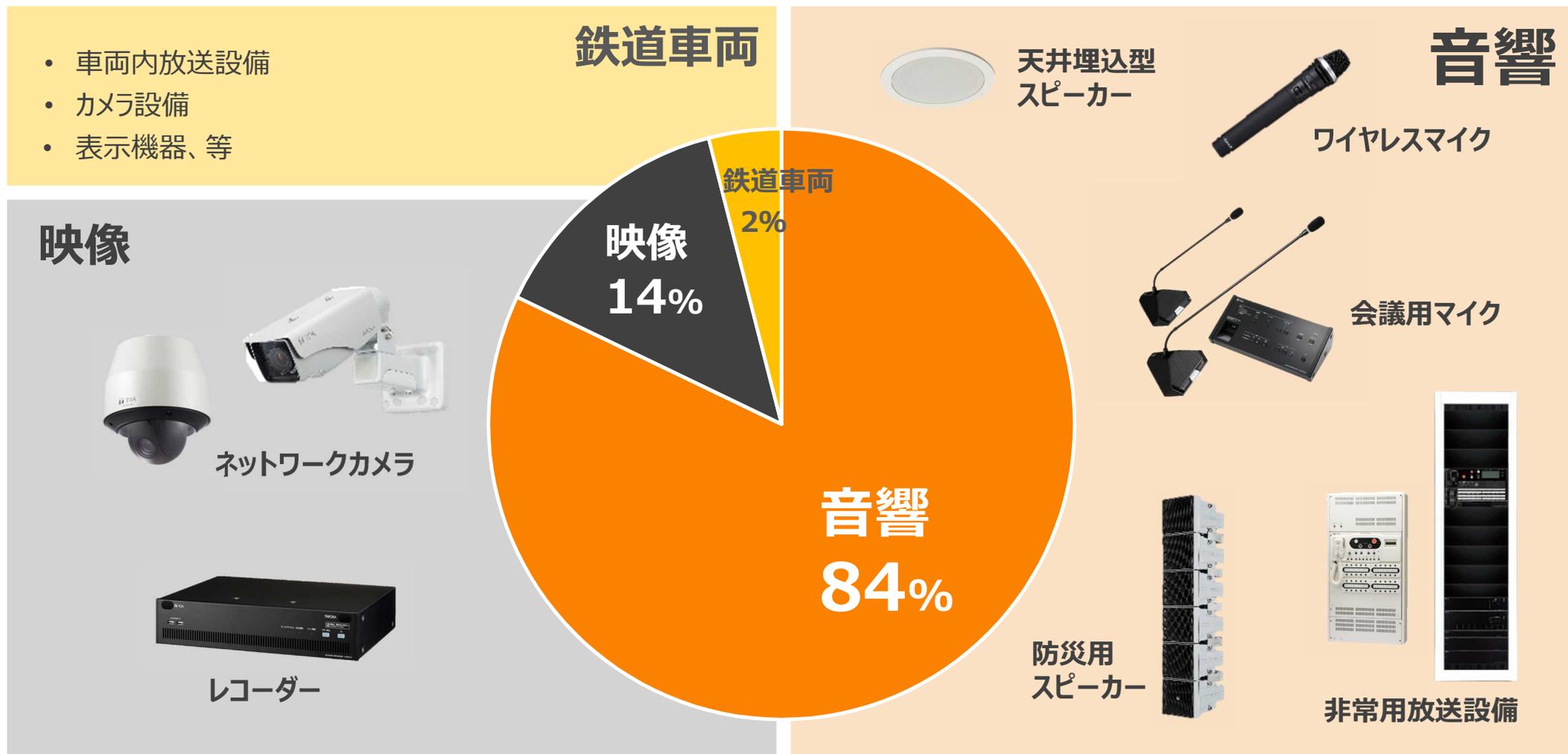


連結**3,025**名



# 製品分野別 売上の割合

\* 2024年3月期 期末 売上実績 (488.14億円の構成比)



# 仕向け先別 売上の割合

\* 2024年3月期 期末 売上実績 (488.14億円の構成比)

世界5セグメント、主要取引先 120カ国以上

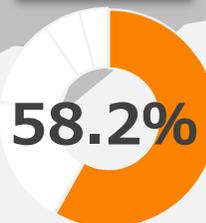
欧州・中東・アフリカ



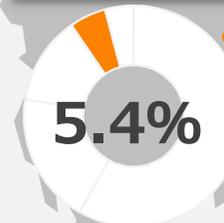
中国・東アジア



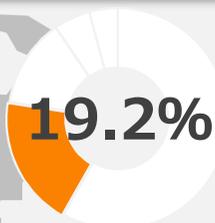
日本



アメリカ



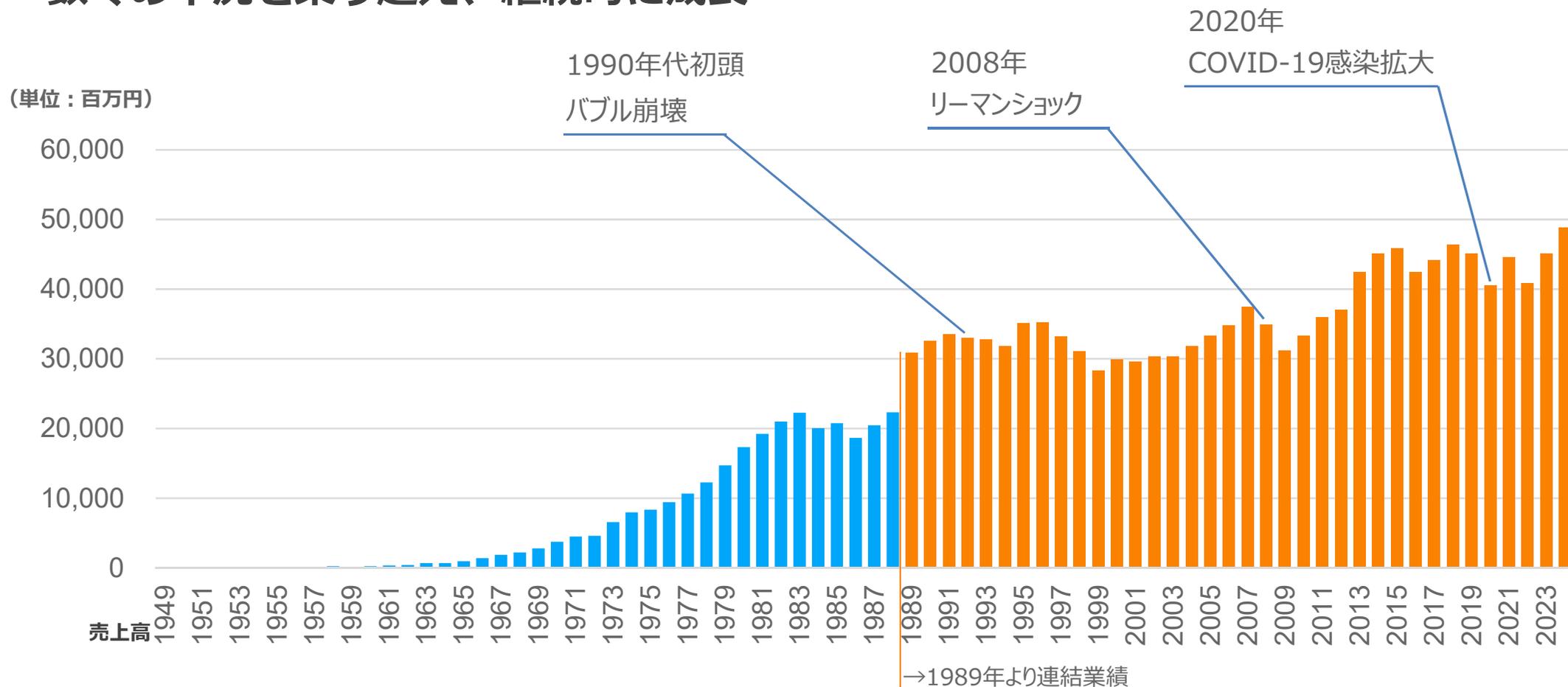
アジア・パシフィック



● 海外販売拠点

# 売上高の推移

## 数々の不況を乗り越え、継続的に成長



# TOAの強み

---

# 数々の「世界初」「日本初」を開発

1947年

**日本初**「レフレックス型トランペットスピーカー」



1954年

**世界初**「電気メガホン」



1969年

**日本初**「非常用放送設備」



2012年

**日本初**「緊急地震放送対応  
非常用放送システム」



1934年  
創業

1947年  
全国統一地方選挙  
開始

1968年  
有馬温泉「池坊満月城」  
火災事故

2011年  
東日本大震災

2024年

# 非常用放送設備の開発の変遷

## 国内

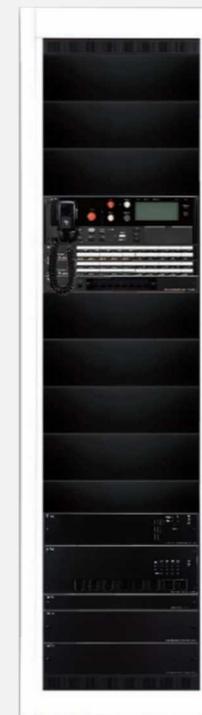
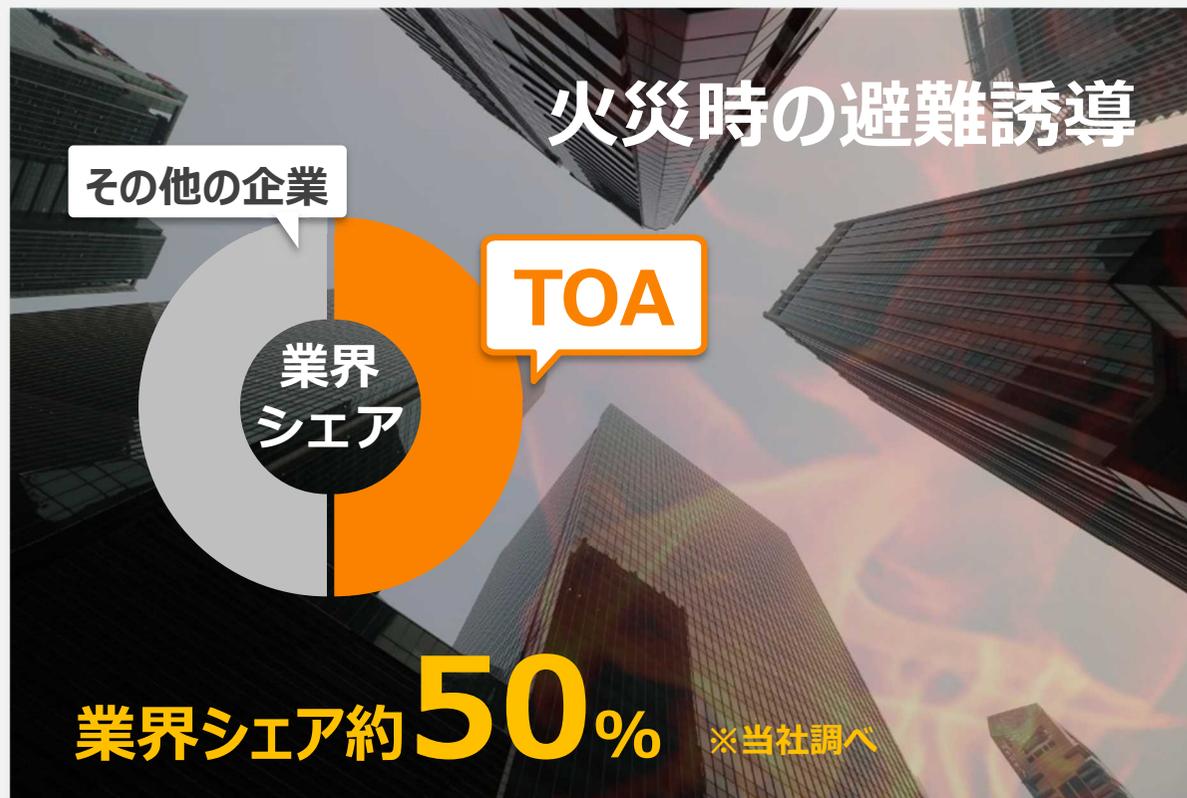
火災事故を機に、  
TOAが初めて開発



## 海外



# 国内シェアNo.1 TOAの非常用放送設備



ラック型非常用放送設備  
FS-2500シリーズ



壁掛型非常用放送設備  
FS-1000シリーズ

# 新成長分野の探索・創造①

生成AI機能を活用した音源作成で、誰でも簡単に、気軽に放送

## 放送アナウンス作成サービス「YUTTE」



PC上でテキスト入力するだけで  
放送アナウンス音源を簡単作成

2023年5月よりβ版の無償提供を開始  
同年12月には生成AI機能を追加搭載  
キーワード入力のみで文章の自動生成が可能に

「放送」の価値を多くの人に体感いただく

## 新成長分野の探索・創造②

音とネットワークの技術を融合し、新しい情報伝達の形を実現

### 「IPオーディオシリーズ」



ネットワークを活用した放送システムを構築可能

IoTセンサーやAIカメラなどの情報を  
トリガーとした自動放送を実現

“どのようなタイミングで、どのような音を、  
どのような音量で届けるか” が自由自在

お客様の運用に合わせて柔軟に対応し、効率化や省人化に貢献

# 新成長分野の探索・創造③

## 自治体との協業を通じた新しい価値の探索

### AIカメラを活用した実証実験



AI機能搭載カメラの検知結果を受けて  
スピーカーから自動で音声放送を行う実証実験を  
自治体と共同で実施

歩道を走る自転車運転者へのマナー喚起、  
繁華街で客引き行為への注意を促すなど、  
様々なケースで効果を検証

安全・安心で快適なまちづくりへの貢献を目指す

## セグメント別の取り組み

---

# 国内・海外におけるビジネスの特長

---

## 国内

業務用音響・映像の **専門性** を追求

豊富な実績に基づくノウハウと、エンジニアリング力を活かしたソリューション提案を展開

## 海外

音の入り口から出口まで対応できる **総合力** が強み

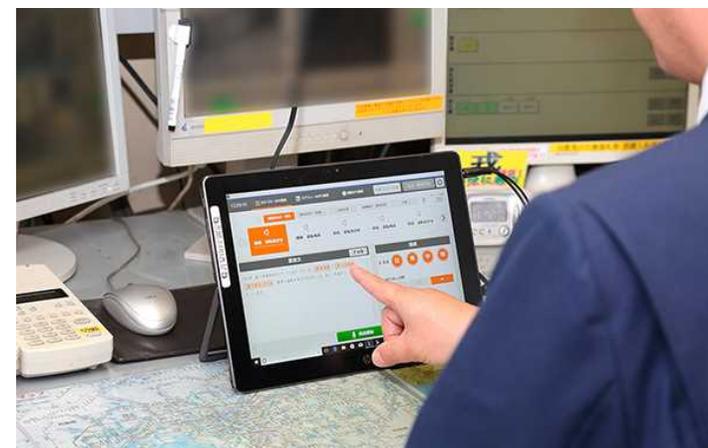
地域ごとに異なる市場ニーズに応えた地域商品の開発と、販路の拡充に注力

# 日本セグメント

## 概況

- **工場**  
半導体関連を中心に、大規模な放送設備を多数納入  
火災への備えとして非常用放送設備の改修需要が増加
- **教育施設**  
公立小中学校向けの防犯カメラの販売が増加
- **交通インフラ施設**  
鉄道の駅向けに省人化・無人化に対応する  
遠隔放送システムを納入

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期
売上高	26,827	28,449
営業利益	5,295	6,348



「アナウンスクリエイター」  
鉄道の駅で業務効率化に貢献

# 日本セグメント

## トピックス

### お客さまのコミュニケーションに役立つ価値を提供

- 円滑な双方向コミュニケーションを実現



- 無人スマートICにおいて、音声通話とカメラ映像表示で、お互いが顔を見ながらコミュニケーションすることが可能
- 運転手の利便性向上と、スタッフの業務負担軽減に貢献

- 業務生産性やサービス品質を向上



- タブレットPCの簡単操作でアナウンス音源を作成  
大型商業施設や工場、病院、鉄道の駅などで活躍
- スタッフの心理的負担や個人のスキルへの依存を軽減

# アジア・パシフィックセグメント

## 概況

- **インドネシア**  
宗教施設向けの放送設備を多数納入
- **タイ**  
経済回復基調に伴い、商業施設やホテルなどで需要が増加  
学校用デジタルアンプの販売台数が大きく伸長
- **ベトナム**  
大型都市開発プロジェクト向けに放送設備を納入  
自治体向けに会議用マイクシステムなどを納入

(単位：百万円)      2023年3月期      2024年3月期

売上高	8,368	9,366
営業利益	1,446	1,731



学校用デジタルアンプ「SA-60D」  
現地でのマーケティング活動により必要機能を1台に集約

# アジア・パシフィックセグメント

## トピックス

### 人々の生活に無くてはならない音を提供

- 毎日の礼拝時間を市民にお知らせ



- 全世界にあるモスク（イスラム教の礼拝堂）の放送設備において、特にインドネシアで高いシェアを獲得
- 毎年ラマダンの時期を中心に、設備投資の特需が発生

- 災害に強い街づくり、日本から世界へ



- 日本国内400以上の自治体でご採用いただいた減災・防災の技術とノウハウを、海外にも展開
- 河川氾濫時の警報設備や、ダム放水時における地域住民への注意喚起に活用

# 欧州・中東・アフリカセグメント

## 概況

- **ドイツ**  
コロナ禍からの経済活動の回復により、設備投資が活発化
- **UAE**  
宗教施設向けの放送設備を納入
- **南アフリカ**  
病院やオフィス向けに大型の業務放送システムを納入

## トピックス

- **交通インフラ施設**  
主力商品の音声警報システムをベルギーの鉄道の駅向けに納入  
船内の音声警報システムの需要獲得を目指す

(単位：百万円)      2023年3月期      2024年3月期

売上高	5,468	6,335
営業利益	550	742



音声警報システム「VX-3000」シリーズ  
ベルギー ブリュッセル市内の駅に納入

# アメリカセグメント

## 概況

### ● アメリカ

主力である店舗向けBGM設備の販売が減少  
官公庁施設や教育施設向けに放送設備を納入

### ● カナダ

医療施設や官公庁施設に対して  
会議用マイクシステムの販売が増加

## トピックス

### ● 防犯

セキュリティ市場に向けた「IPオーディオシリーズ」の拡販に注力  
特にカナダでの販売が増加

(単位：百万円)      2023年3月期      2024年3月期

売上高	2,536	2,615
営業利益	53	126



ネットワーク上の様々なシステムと連携し  
自動放送が可能な「IPオーディオシリーズ」

# 中国・東アジアセグメント

## 概況

- **中国**  
空港や教育施設向けに放送設備を納入
- **台湾**  
半導体工場向けの売上が好調を維持
- **香港**  
自治体向けや宗教施設向けに放送設備を納入

## トピックス

- **韓国新規流通向け営業強化**  
自治体への会議用マイクシステムの仕様化に注力

(単位：百万円)      2023年3月期      2024年3月期

売上高	1,922	2,046
営業利益	135	157



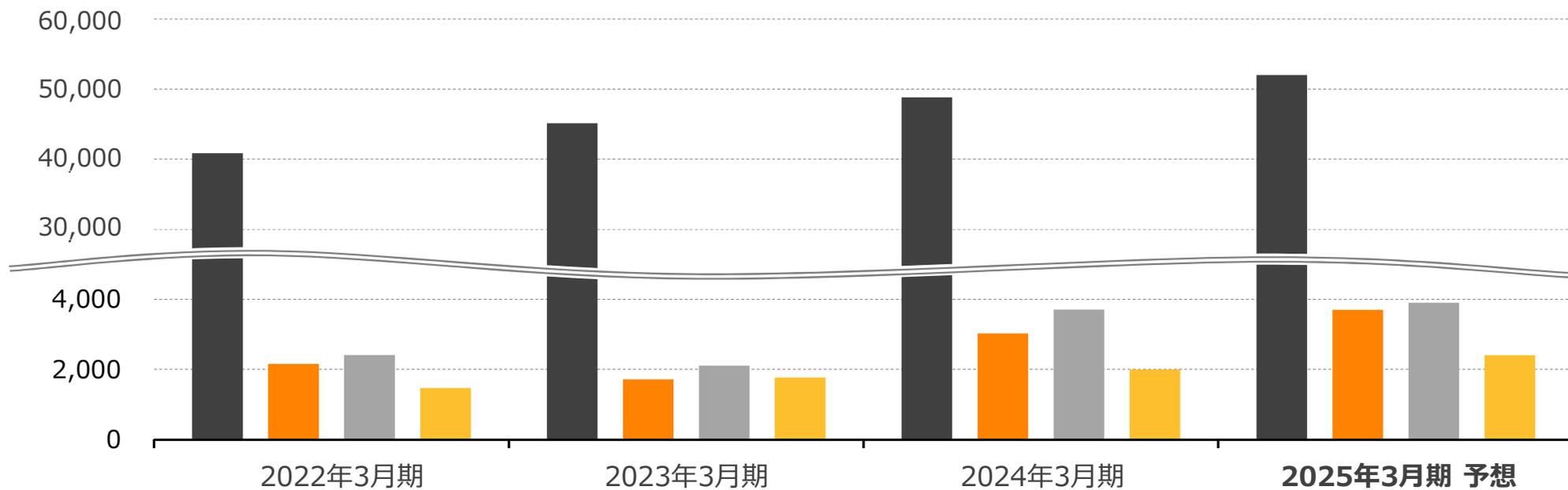
台湾：日本でも展開している非常用放送設備「FS-2500シリーズ」の市場導入が進んでいる

## 業績予想・配当

---

# 業績予想（連結）

（単位：百万円）



■ 売上高	40,864	45,123	48,814	52,000
■ 営業利益	2,159	1,713	3,028	3,700
■ 経常利益	2,407	2,104	3,710	3,900
■ 最終利益 (注)	1,466	1,765	1,997	2,400

（注）親会社株主に帰属する当期純利益

# 中期経営基本計画業績目標

指標	2022年3月期実績 (※)	2024年3月期実績	2025年3月期予想	2026年3月期目標
連結売上高	408億円	488億円	520億円	520億円
連結営業利益	21億円 (連結営業利益率 5.3%)	30億円 (連結営業利益率 6.2%)	37億円 (連結営業利益率 7.1%)	45億円 (連結営業利益率 8.7%)
ROIC	3.2%	4.5%	5.8%	6~7%水準

(※)参考：本中計開示年度の実績

## 日本セグメント売上高 : 300億円以上

- 高いシェアと販売網を強みに“つながるビジネス”を展開し強固な収益基盤を構築

## 海外4セグメント売上高 : 200億円以上

- シェア拡大とソリューションの高付加価値化を地域のビジネス環境に応じた戦略遂行により実現

## 連結営業利益率 : 8.7%

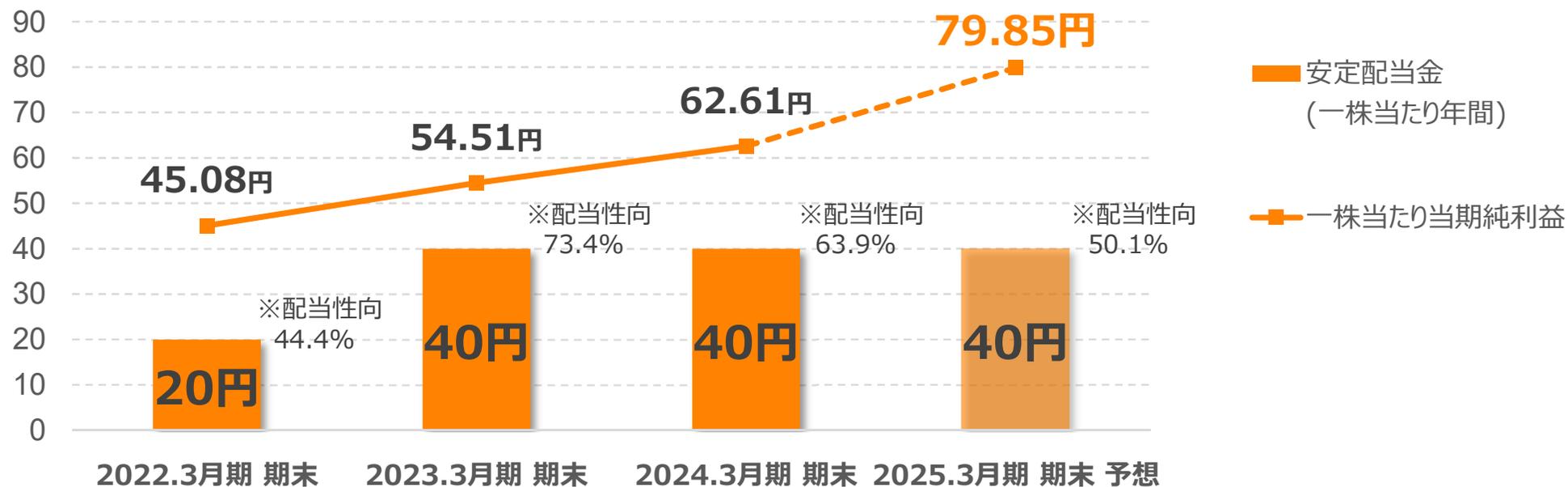
- 成長投資を実行しつつ、デジタル化とデジタル技術活用人材の育成により付加価値と生産性を向上し、連結営業利益率を22年3月期比3.4pt.改善

成長投資とのバランスも考慮しつつ還元施策も強化させていくとともに、PBR1倍超の早期実現を目指す

# 予想配当

## 安定配当40円に業績を加味して、連結配当性向45%を目安に決定

(単位：円)



- 2024年2月15日にToSTNeT-3による買付けで2,125,300株の自己株式を取得
- 2025年3月期の業績予想における最終利益は24億円となっており、安定配当40円における配当性向は50.1%となる見込み

## 未来に向けたチャレンジ

---

# 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に協賛

## TOA株式会社は大阪・関西万博の 運営参加 ブロンズパートナーです

- 非常時の避難指示、熱中症リスクへの注意喚起など、必要な情報を、必要なタイミングでお届けすることで、万博開催期間中の安全・安心な会場運営に寄与
- 万博会場全体を「未来の街」のモデルと捉え、新たな情報伝達とコミュニケーションの姿を創造・発信し、未来社会に実装していくチャレンジを進める



提供：2025年日本国際博覧会協会

# 100周年、さらにその先を見据えて

90!  
th



- 当社が開示する情報の中には将来の見通しに関する事項が含まれている場合がありますが、発表時点での情報に基づく予測であり、経済情勢等の変化によって大きく異なる結果となる場合があります。当社としましては、将来見通しの精度を高めるための努力をするとともに、見通しの変化が生じる場合には適宜開示いたします。
- 当情報の正確さや掲載内容につきましては細心の注意を払っておりますが、なんらそれらの正確性を保証し、または責任を負うものではありませんのでご了承ください。